



伝えることの真髄

～プレゼンテーションの向こう側～

三二版

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



1

【講義内容】15:30-16:30 (60分)

- ◆ 他人に物事を説明するとき、どのような点に注意すれば良いのであろうか。説明したい事柄を理解しておくことは当然だが、それ以外にどのような点を考慮すべきなのか。本講演では「伝えること」を考える際の端緒を紹介できればと考えている。
- ◆ 大学生活に限らず、広く社会では人と意見交換をする。自分の意見や伝えたい情報を理解してもらおうと言葉を発するが、誤解なく完全に相手に伝わっているのであろうか。伝えること、背景にまで踏み込んで皆さんと「伝えること」や「考えること」を一緒に考察できればと思っている。

2

1. 専門

- ◆ ~~(文学)~~
- ◆ (工学(機械系))
- ◆ 統計学:
 - ◆ データに内在する構造を見つける、探索する
 - ◆ 諸科学の支援: 医学、工学、農学、心理学、経済学、...
- ◆ 教育工学:
 - ◆ コンサルテーションシステム、学習診断
- ◆ 高等教育論:
 - ◆ 共通試験のあり方、入試・高大接続のあり方、“良い”選抜とは? どうやって評価する?
- ◆ 所属: 基幹教育院、アドミッションセンター(兼務)

3

2. これまでの担当講義、経験

- ◆ 統情報処理(プログラミング): '86~'92
- ◆ システム最適化論: '96
- ◆ 統計解析、推測統計: '96~'97, '99~'08
- ◆ 能力測定法特論: '04~'08
- ◆ 少人数セミナー: '12, '13
- ◆ 基幹教育セミナー: '14(2クラス)
- ◆ 課題協学科目: '14
- ◆ 最近の講演:
 - ◆ 学会、研究会、講演会
 - ◆ 進学説明会、高校生、PTA、高校教員

4

3. 開講動機(1/2)

- ◆ 出会い
 - ◆ S1先生の言葉:「あんた、面白いねえ」
 - ◆ T1先生の言葉:「一度話をしてみたかった」
 - ◆ S2先生の講義態度とその評価
 - ◆
- ◆ 少なくない講義・講演を聞いての印象・経験
 - ◆ 何か違うぞと感ることがあった
 - ◆ 説明順
 - ◆ 講演時間
 - ◆ 要点のまとめ方

5

3. 開講動機(2/2)

- ◆ コミュニケーションって何?
 - ◆ どのような情報が交換されているのか?
- ◆ 何が伝わっている、伝わっていないのか?
- ◆ 人への伝達の流儀
- ◆ 人と話していて、面白いなあと感じることがある
 - ◆ 話題の持ち方、キャラクター、本人の興味・関心
- ◆ 言葉(文字列)以外に伝わっているものがある
 - ◆ ありそうだ: 過去のいくつかの経験から
- ◆ 語彙、抑揚、身ぶり、...以外の何か
 - ◆ 得体の知れないもの

6

4. 講義の目標

- ◆ 伝えるという行為は
どの様なことを集結して行っているのか?
- ◆ 相手のことを考えて伝えるには
何に注意すれば良いのか?
- ◆ 伝える技術を獲得することによって、他人が
(無意識に/意図的に)表現しなかった事項を
察知する能力が付けられるのではないのか?
- ◆ (常時)考える習慣を身に付ける
- ◆ 外側ではなく、「中身」を見抜く力を付ける
- ◆ "アクティブラーナー"になるための動機付け?

7

4. 講義の目標 (おことわり)

- ◆ 「プレゼンテーション能力」や
「コミュニケーション能力」、「論理的思考力」が
直接的に醸成される講義ではない
- ◆ そもそも「コミュニケーション能力」
 - ◆ 非常に複雑な事項を「ひとまとめ」にして表現している
 - ◆ むしろ「使い方」に注意
- ◆ 副題「プレゼンテーションの向こう側」の意味
 - ◆ 上手いプレゼンテーションができることを
目指しているわけではない
 - ◆ 会話・言葉を発していることによって
何が伝わっているのでしょうか/伝わらないのでしょうか 8

5. 講義の進め方 (15回)

- ◆ www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/kougi/presentation/
- ◆ 「伝えることの真髄 林」で検索: 11月22日朝の時点では

- 第 1回 本講義の目的と全体的な流れの紹介
- 第 2回 伝えるための準備
- 第 3回 登壇時に心掛けること & 参考ビデオ
- 第 4回 各自でプレゼンテーションをしてみよう
- 第 5回 提示資料の作り方: PowerPoint編
- 第 6回 グラフ、図、表の提示について
- 第 7回 配付資料の作り方、落語(導入)
- 第 8回 「落語」に学ぶ
- 第 9回 改良されたプレゼンテーションをしてみよう
- 第10回 Prezi を使ってみよう & 資料を見る際に
- 第11回 完成させたプレゼンテーションをしてみよう(1/3)
- 第12回 完成させたプレゼンテーションをしてみよう(2/3)
- 第13回 完成させたプレゼンテーションをしてみよう(3/3)
- 第14回 まとめと今後の課題
- 第15回 レポート作成、補足

9

6. 伝えるために必要なもの

- ◆ 伝えるための準備: 「プレゼンテーション」を例に
 - ◆ うまくなろうとするには、どのような準備が必要か?
 - ◆ 日頃心がけている事項(現在)
 - ◆ どの様な心掛けをしてうまくなろうと計画しているか?(将来)
- ◆ 人にモノゴトを伝える際に重要な事項は?
 - ◆ 熟知している
 - ◆ 背景を知っている
 - ◆ 裏付けとなるデータを持っている
 - ◆
- ◆ 練習、抑揚、ジェスチャー、目の動き、
発声・スピード、アドリブ、質問への準備、...
- ◆ 他には?

10

7. 観点1: 聞くこと(1/2)

- ◆ 傾聴、他人の観察
- ◆ [提案] 各自が受講している講義を観察対象に
 - ◆ 講義を“斜め”に聞く
 - ◆ 批判的に聞く
- ◆ 「建設的な助言/批判」を行い続ける習慣を
 - ◆ 相手を傷付けないように
- ◆ お奨めの習慣: 「二人居る自分」
 - ◆ 当事者の自分と、一歩引いて全体を見渡す自分
 - ◆ 両者それぞれで観察しだすと目につくもの: 気付き(?)
- ◆ 今まで受講してきて魅力的だと感じた講義が
ありますか? どこが魅力的と感じましたか?

11

7. 観点1: 聞くこと(2/2)

- ◆ 教材: 「良い物」を観る・触れる:
 - ◆ 良い講義、良い講演、良い落語、良い演劇、...
- ◆ 情景の表現力の醸成: 映像を用いずに想像してもらう
 - ◆ 詩、漢詩、歌、落語、講談、.....
 - ◆ 読書(名著の)、ラジオの効用、演歌の効用(歌詞)、....
- ◆ 私の場合: 良い先生、研究者、先輩、友達、
後輩、学生.....に逢えたから
 - ◆ いろいろな経験をさせてもらった
 - ◆ 「良いxx」は単独では存在しないように思う
 - ◆ 『良い』: 良いかどうかの判断は
継続的に観察しておかないと判らない

12

7. 観点2: 質問する習慣

- ◆ 質問をしてやろうという思考・態度
 - ◆ 是非養ったら良いと思っている能力
 - ◆ 受け身ではつまらない
- ◆ 質問するには?
 - ◆ 当該事項に興味を持つ、観察する、本質を掴む
 - ◆ 周辺事項を調べる
 - ◆ 恥ずかしがらない、...
- ◆ 会合では「1回は発声する」
 - ◆ 発表 or 質問

13

7. 観点3: 話の構成

- ◆ 聴衆の期待に応える
 - ◆ 喜んでもらえるであろうと考える情報を準備・提供する
- ◆ 主張を明確にする
- ◆ ストーリーの重要性
- ◆ 発表内容の要素を挙げる
- ◆ 理解し易いように連結する
- ◆ ストーリーの構築とその**熟成**: ひと晩置く等
 - ◆ 起承転結、序破急
 - ◆ 前の話を受けて後ろ側が進行する
 - ◆ 導入、提案、結論が一つの軸となる
 - ◆ 最終的な構成順序は必然で決まる

14

7. 観点4: 時間を守る

- ◆ 与えられた時間を最大限使う構成力
- ◆ まとめる力
- ◆ 聴衆の集中力
- ◆ (ただし、学生にはきつくは要求しない)

15

7. 観点∞: 他にも

- ◆ 今までの経験から書き溜めたもの
 - ◆ http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/comp_tips/presentation.html
- ◆ 学会発表時に注意する事項
 - ◆ 人の話を聞くとき(準備段階として)
 - ◆ 発表の構成
 - ◆ 発表資料(提示資料)の作成
 - ◆ 配布資料の作成
 - ◆ 登壇時
 - ◆ 講演をお引き受けする際
 - ◆ [番外編] コーディネーターの心得

事前準備が重要

16

8. プレゼンテーションは「技術」

- ◆ 『プレゼンテーションは練習すれば
一定程度は上手になります。』
- ◆ 最低限の技術やマナーについては習得しましょう。
- ◆ うまいプレゼンテーションと、伝達内容の関係
 - ◆ 正の相関があると言えるのか?
 - ◆ 中身も充実していると言えるのか?
- ◆ 「綺麗な」「手の込んだ」「凝った」プレゼンテーション
でしたねと言われたいですか?
- ◆ 「あなたのアイデア・考えには興味を惹かれた」と
言われたいくはないですか?
- ◆ 常に考える習慣

17

9. 言葉への興味

- ◆ 言葉: 伝えるための道具。考えるための道具。
- ◆ 語彙力、構成力、表現力、比喩力(?)、...
- ◆ 日本語(母語)の大切さ: 言語(日本語)運用能力
- ◆ 使うことに慎重にならざるを得ない語:
 - ◆ 「コミュニケーション能力」、「プレゼンテーション力」、
 - ◆ 「人柄」、...
- ◆ 言葉では表わせない情報(雰囲気?)の伝播
<=== 言葉を越えるもの(?)がありそうだ
- ◆ 日本語教育研究者との懇談
 - ◆ でも今だ判らず

18

10. 理想的には

- ◆ 言いたいことを何でも言える話術
 - ◆ 伝えたい事項を相手に意図通り正しく発言
 - ◆ 相手を傷付けず、相手の心証を害さず
 - ◆ 意見を聞き入れてもらえる話し方
- ◆ 中身を見抜ける人ばかりの世界
 - ◆ プレゼンテーションは簡素化(or 不要)できる。
- ◆ "綺麗な"プレゼンテーションは邪魔
 - ◆ 中身が充実していたら、外見は重要ではない

19

11. 残された課題

- ◆ 学生同士の意見交換時間の確保。
しかし本来は時間外に。
- ◆ 私が知らない技術・事項をご教示いただければ
- ◆ 2ビームを使ったプレゼンテーション、その必要性は?
- ◆ 理想のプレゼンテーションアプリケーションとは?
- ◆ 理想の"飛び道具"とは?
- ◆ コーディネーターの心得
- ◆ 人の魅力、品の教育、教養の習得 <=== 飛躍あり?
- ◆ ...

20

12. まとめに代えて(1/2)

- ◆ 「伝えること」を考える＝全てのことに通じる:
聞く、理解する、思考する、発案する、
説明する、自立する、...
- ◆ 日本語(国語・母語)の重要性: 道具
<===> 英語(第一外国語)とは立場が異なる
- ◆ 人間観察を通して得られる知見
- ◆ 図、表、デザイン、絵で
騙されてはいけない・騙してはいけない
- ◆ 「実物大」、「等身大」の自分を相手に伝える力:
控え目／誇張も可能であろうが
- ◆ 年配者の洞察力・感受性(?)はあなどれない
<=== 長年の経験から得られるものなのか? (詳細は不明) 21

21

12. まとめに代えて(2/2)

- ◆ 聴衆に聞き入れてもらい易くする方策の工夫
 - ◆ 他人を気遣うこと、相手(聴衆)の立場に立った準備・説明
 - ◆ 相手の欲している情報を感じ取って提供: 発表者、聴衆共
 - ◆ 周辺のいろいろな事項を調査・熟考する必要がある
- ◆ 日頃からの感性・アンテナを磨くこと
中身は充実できるのでは?
- ◆ 「真の姿」、「本質」を掴む力
 - ◆ プレゼンテーション技術の向こう側にあるもの(中身)を見抜く力、眼力の獲得
- ◆ ご期待にお応えできましたでしょうか?
 - ◆ 多少なりとも参考に or 端緒にいただければ幸いです。

22

81. おまけ(蛇足)

- ◆ 「まくら」を考える楽しみ
- ◆ 話を始める前の導入部分
- ◆ 広辞苑によると
 - ◆ (6)前置きの言葉。落語家などが初めにつけて話す短い話。「一を振る」
- ◆ 本題に入る前のウォーミングアップ
- ◆ どういう人物なのかを知ってもらう動機付け

23

82. 参考文献

- ◆ ガー・レイノルズ著、シンプルプレゼン、日経BP社、2,808円、DVD付き
- ◆ ガー・レイノルズ著、プレゼンテーションZEN 第2版、丸善出版、2,808円
- ◆ 諏訪 邦夫 著、発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで、ブルーバックス、講談社、950円
- ◆ 池上 彰、伝える力、PHP研究所、864円



24

83. 魅力的な・秀逸な教材

- ◆ TED: Technology, Entertainment, Design.
 - ◆ <http://www.ted.com/>
- ◆ Translations Talks in 日本語
 - ◆ <http://www.ted.com/talks?language=ja>
- ◆ ハンス・ロスリング、地球規模の人口増加について
 - ◆ http://www.ted.com/talks/hans_rosling_on_global_population_growth?language=ja
- ◆ Yasuo SATO [佐藤 康雄] - TEDxSeeds 2011
 - ◆ <http://tedxseeds.org/talk/yasuo-sato-talks-2011/>
- ◆ スーパープレゼンテーション: Eテレ(NHK)
 - ◆ <http://www.nhk.or.jp/superpresentation/>
- ◆ ラジオ番組: **ラジオ深夜便**: NHK ラジオ第1

25

皆さんへのメッセージ

- ◆ 健康に気をつけて有意義な大学生生活を
- ◆ やりたいことを、やりたい時に、やりたいように、やってみる。
- ◆ お役に立てることがあれば何なりとどうぞ
 - ◆ 統計学、教育工学、高等教育論(高大接続を中心に)
 - ◆ 最近は「ことば」、「コミュニケーション」にも興味
==> 少人数セミナー「伝えることの真髄」
- ◆ いつでも研究室(箱崎キャンパス)に遊びに来て
- ◆ 大学は楽しいところだと思っています。
でも、楽しさは自分でしか発見できません。
4年間(以上)かけて探検してみてください。

26